

株 主 メ モ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
単元株式数 50株
株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに
日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っており
ます。
公告方法 電子公告とし、当社のホームページ
(<http://www.nihon-trim.co.jp>)に掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による
公告をすることができない場合の公告方法は日本経済新聞に
掲載する方法といたします。

・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

・「配当金計算書」について

配当金支払いの際にお送りしている「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、本年より配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



Water Health Care

ウォーターヘルスケアという、新習慣。

株式会社日本トリム 第28期 年次報告書

[平成21年4月1日～平成22年3月31日]

還元水事業に加え、 医療分野・遺伝子分野事業をコア事業に

1. 電解還元水事業

家庭用整水器の製造販売事業
浄水カートリッジのストックビジネス
ボトルング事業(インドネシア等、海外での展開)

2. 医療分野

血液透析への応用(電解水透析の事業化)
トリム メディカル インスティテュートのメチルグリオキサール測定事業

3. 遺伝子診断分野

TRIMGEN CORPORATIONの遺伝子関連事業

4. その他

農産・工業等、その他の分野での事業構築

■ 21世紀は「水」の時代

- ①水資源の「量の争奪戦」と共に「質の競争」の時代へ
- ②ペットボトル、ガロンから機器(整水器・浄水器)の時代へ
- ③安全、おいしさに、さらに機能(健康増進効果、予病等)が求められる時代へ

■ 予防医療、健康維持対策として、 日常、電解還元水を飲用する社会へ

Water Health Care

ウォーターヘルスケアという、新習慣。



目標：家庭用整水器国内世帯普及率20%=1,000万台(想定市場 1兆円)
(現在普及率 約50%の浄水器から整水器への移行)
目標当社シェア：30%(300万台)

■ 2010年3月 新製品「TRIM ION NEO」発売



■ 整水器も家電の時代へ

「整水器は家電」のコンセプトのもと、TRIM ION NEOを本年3月に発売

健康はもちろん、エコロジーやスタイリッシュをキーワードに製品開発

- 「健康」 効果効能／胃腸症状の改善
- 「エコロジー」 ECOスイッチで消費電力節約 排水量調節で水資源節約
- 「スタイリッシュ」 置き場所を選ばないスマート&コンパクト設計

※ご家族の健康への意識が高く、エコへの関心も強い、またインテリア性を重視される30代～40代の主婦など
新たなユーザー層に好評

※職域販売での売上台数は、本年3月が前年3月に比べて1.4倍、本年4月が前年4月に比べて2.1倍

■ 整水器普及率向上に伴うストックビジネス(浄水カートリッジ販売)による
安定的事業基盤の構築

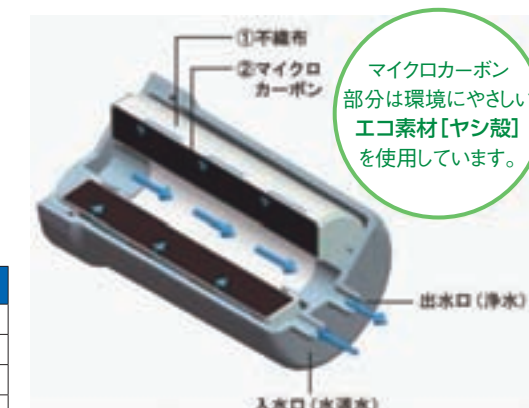
■ 新素材浄水カートリッジの販売開始

- 1) JIS規格による指定13物質を除去
(カーボンのみでの除去は整水器業界初)
- 2) 環境にやさしいヤシ殻を使用

浄水カートリッジろ過能力 JIS S 3201での試験結果(試験ろ過流量3L/分)

除去可能な物質(総ろ過水量全て7トン)			
1	遊離残留塩素(カルキ)	6	ジブromクロロメタン
2	濁り	7	ブロモホルム
3	総トリハロメタン ^{※3}	8	テトラクロロエチレン
4	クロロホルム	9	トリクロロエチレン
5	プロモジクロロメタン	10	1.1.1-トリクロロエタン
11	CAT(農業)	12	2-MIB(カビ臭)
13	溶解性鉛		

※3 総トリハロメタンとは上記4～7の4物質の総称です。



■ 使用済み浄水カートリッジのリサイクルの実施

- 1) 無償でユーザーより使用済み浄水カートリッジを回収。新たな資源としてリサイクル
- 2) 新素材浄水カートリッジとエコリサイクルスキームへの共感による交換率の向上



血液透析への応用～医療分野への進出～

■ 革新的新技術=電解水透析の次世代一般透析法としての確立



2010年4月 東北大学医学部との共同論文
欧州腎臓・透析移植学会誌

「Nephrology Dialysis Transplantation」電子版に掲載

【安全性】安全性を確認

【効果】①血圧低下作用

②酸化ストレスの抑制作用

③炎症の抑制作用

電解透析水整水器 TRIM HD-24D

※2010年6月 販売開始



河北新報 2010.5.15掲載



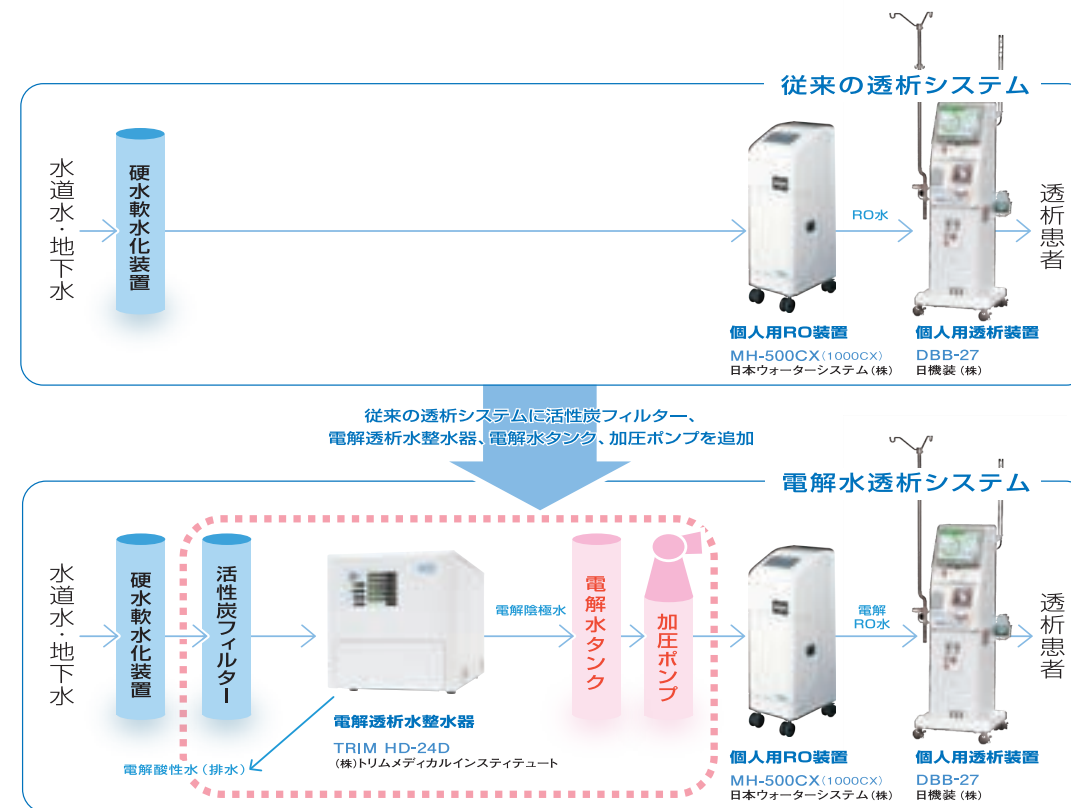
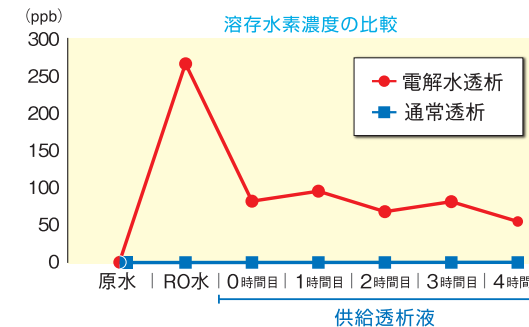
一般社団法人電解水透析研究会発行
「電解水透析ハンドブック」

■ 第53回(社)日本腎臓学会学術総会 (2010.6.16～18/神戸)

第55回(社)日本透析医学会学術集会・総会 (2010.6.18～20/神戸)にて発表

■ 従来の血液透析と「電解水透析」の違い

一般的な血液透析では、尿毒素に汚染された血液を体外に導き、人工腎臓とも呼ばれるダイアライザーに一定量のその血液を送り、「老廃物除去」「電解質補正」「過剰水分量除去」を行い、血液をきれいにして体内に戻す方法がとられています。この透析には、1回当たり約120ℓの透析液が必要となります。従来の血液透析と「電解水透析」の違いは、溶存水素を大量に含む「電解陰極水」を透析用水として使用することです。



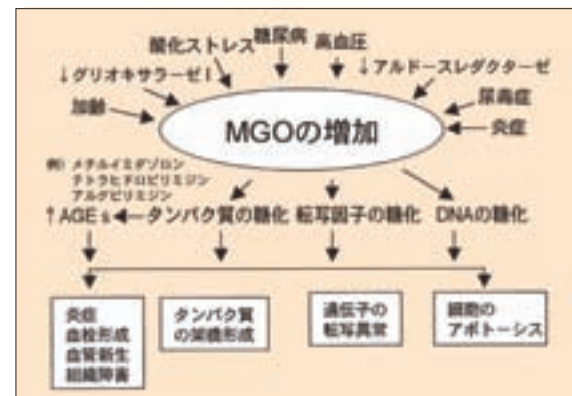
出典:ハンドブック「『電解水透析』とは?」一般社団法人電解水透析研究会より

新たな疾患マーカー解明への挑戦

■ メチルグリオキサール(MGO)とは

メチルグリオキサール(MGO)は、糖分解代謝物の一つで、活性酸素と共謀して新たなラジカルを発生し、細胞傷害を引き起こす物質です。

MGOは、合併症、血圧上昇、組織傷害、生活習慣病、老化促進の原因物質または誘因物質として注目を浴びつつあります。



MGOの影響
(Ramasamy R, et al. Cell 2006 124: 258-260より引用改変)

■ MGOの測定事業

東北大学との産学共同ベンチャー

(株)トリム メディカル インスティテュート

反応性の高さから安定した定量解析が困難であったMGOの安定的かつ正確な定量解析を行う測定技術を有し、受託測定を実施しています。

血漿中MGO濃度：慢性腎臓病(CKD)レベルやCKD患者の心血管疾患(CVD)と関連

尿中MGO濃度：肥満の若年成人の将来の高血圧や慢性腎臓病リスクと関連

↓
重要な疾患マーカーとしての可能性の高まり
測定事業の拡大への期待

■ MGOと電解還元水

東北大学と、電解還元水飲用によるMGOに対する影響に関する研究も実施し、細胞機能の保持などMGOの毒性による影響を抑制するとの報告がなされています。

当研究の推進による、家庭用電解還元水事業への波及効果が大きいと期待されます。

遺伝子検査・診断分野での市場開拓、事業構築

■ 米国グループ会社 TRIMGEN CORPORATION、 Life Technologies Corporation と販売提携契約締結

(2008年、ABI社とInvitrogen社が経営統合して設立。研究用試薬機器で世界最大手のメーカー)

↓
LT社が世界100カ国以上に持つ販売網をいかし、グローバルな拡販を展開。
2010年4月から販売開始。



Mutector II K-ras kit

遺伝子の変異を診断することで、抗がん剤の効果の有無を判断し、患者への身体的負担リスクや医療費負担の無駄を回避。

「MutectorIIK-ras kit」

肺癌、膵臓癌、大腸癌の関与遺伝子「K-ras遺伝子」の変異を診断するキット。

「MutectorIIB-raf kit」

大腸癌、甲状腺癌の関与遺伝子「B-raf遺伝子」の変異を診断するキット。

■ FDA510(k)承認取得キット 「eQ-PCR LC Warfarin Genotyping Kit」

- ①NHL-BI(アメリカ国立心肺血液研究所)が、
遺伝子型による抗凝固薬剤最適投与量の
標準化を目的とした全国規模治験を実施中。
- ②現在、米国のWarfarinの新規投与患者は毎年約200万人。



■ 独自の最先端技術をベースに更なる新製品開発に取り組む

インドネシアでのシェア拡大&東南アジア地域への進出

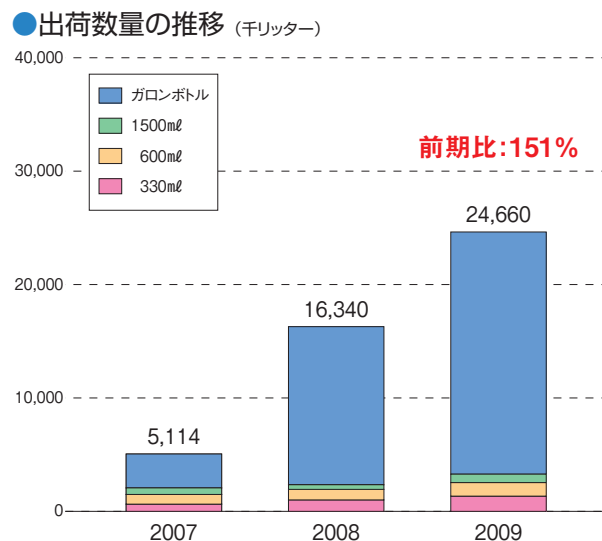
■ 経済成長に伴い、インドネシア国内水市場は年間15~20%伸長



PT SUPER WAHANA TEHNO(インドネシア・ジャカルタ)
 現地最大手コングロマリット“Sinarmas Group(シナルマスグループ)”との合弁会社



- ▶ 日系ルート・シナルマスグループの販売網からの市場開拓
 - ▶ ホテル・レストラン・カフェ等での展開
 - ▶ シンガポールへ輸出開始
- ↓
- ▶ 国内シェア 中期目標 5%
 - ▶ 東南アジアを中心に近隣諸国への輸出開拓



電解還元水の普及

■ スポーツ選手にとって最も重要な水分補給の側面からサポート

- ◆ 2010年 日本フットサル連盟主催
『トリムカップ2010
第2回全国女子選抜フットサル大会』



- ◆ 高知ファイティングドッグス メインスポンサー
- ◆ オリックス・バファローズ オフィシャルウォーター
- ◆ 大阪エヴェッサ オフィシャルウォーター



- ◆ リレー・フォー・ライフ・ジャパン2009オフィシャルサプライヤー



産学共同研究論文リスト

- ① **Nephrology Dialysis Transplantation** 2010年掲載、東北大学医学部との共同論文
「水の電気分解による溶存水素(H₂)を利用した新しい生理活性血液透析システム:臨床試験」
- ② **Nephrology Dialysis Transplantation** 2010年掲載、台湾大学医学院との共同論文
「電解還元水透析液は慢性透析を受けている末期腎不全患者のT細胞障害を改善する」
- ③ **Free Radical Research** 2010年掲載、東北大学医学部との共同論文
「メチルグリオキサールは、大動脈内皮細胞の細胞内酸化ストレスを増大する」
- ④ **Nephron Clinical Practice** 2009年掲載、東北大学医学部との共同論文
「血液透析における電気分解水の生物学的効果」
- ⑤ **Vascular Medicine** 2008年掲載、東北大学医学部との共同論文
「心腎連関におけるメチルグリオキサールの関与を探る」
- ⑥ **Biological&Pharmaceutical Bulltin** 2008年掲載、九州大学との共同論文
「電解還元水の腫瘍血管新生抑制効果」
- ⑦ **Langmuir** 2008年掲載、九州大学との共同論文
「白金ナノ粒子のスーパーオキシドアニオンラジカル消去活性とヒドロキシラジカル消去活性の動態解析」
- ⑧ **Hemodialysis International** 2007年掲載、東北大学医学部との共同論文
「電解陰極水応用による低酸化性血液透析液」
- ⑨ **Kidney International Vol.70** 2006年掲載、台湾大学医学院との共同論文
「電解還元水は末期腎疾患患者の血液透析誘発性の赤血球機能低下を抑制する」
- ⑩ **Cytotechnology 2005** 2005年掲載、九州大学との共同論文
「白金ナノ粒子を添加した電解還元水は2段階細胞形質転換のプロモーションを抑制する」
- ⑪ **Kidney International 2003** 2003年掲載、台湾大学医学院との共同論文
「電解還元水による末期腎臓疾患患者に対する血液透析誘発性酸化ストレスの緩解」
- ⑫ **Cytotechnology 2003** 2003年掲載、九州大学大学院との共同論文
「アロキサン誘発によるすい臓β-細胞損傷に対する還元水の保護作用メカニズム:活性酸素種の除去効果」(抗糖尿病)
- ⑬ **BBRC** 1997年掲載、九州大学大学院との共同論文
「電解還元水の活性酸素の消去及びDNA酸化損傷からの保護作用」

日本発の技術で世界の オンリーワン企業を 目指します。

日本トリムグループ

当社の既存事業である、家庭用電解還元水整水器の製造・販売事業を拡大すると共に、電解還元水の血液透析への応用を始めとした医療・予防分野での研究開発を推進。また新事業投資分野では、TRIMGEN CORPORATIONを中心とした遺伝子診断分野での事業展開などにより、世界のオンリーワン企業を構築してまいります。

国内

株式会社日本トリム

設立：1982年(昭和57年)

所在地：大阪市北区

業種：電解還元水整水器及びカートリッジ・家庭用電位治療器等の製造販売、
ボトルドウォーターの製造販売、電解還元水の研究開発

日本トリムネットワーク

本社：大阪

：東京オフィス

支社：東京・名古屋・広島・福岡

営業所：札幌・仙台・大宮・千葉・横浜・新潟・長野・静岡・金沢・京都・岡山・山陰・松山・高知・長崎・熊本・鹿児島

株式会社トリムエレクトリックマシナリー

所在地：高知県南国市

業種：電解還元水整水器及びカートリッジ・家庭用電位治療器等の製造



株式会社トリムフィナンシャルサービス

所在地：大阪市北区

業種：割賦販売業務

株式会社GIバイオポリス

所在地：大阪府豊中市

業種：消化管損傷修復因子の医療研究

株式会社機能水細胞分析センター

所在地：福岡市博多区

業種：機能水科学分析

株式会社トリム メディカル インスティテュート

所在地：宮城県仙台市

業種：糖分解代謝物の受託測定、電解透析水整水器の
販売

株式会社トリムジン ホールディングス

所在地：東京都千代田区

業種：持株会社

株式会社トリム・オブティマル・ヘルス

所在地：東京都千代田区

業種：健康関連商品販売会社

株式会社トリム・コミュニケーション・ジャパン

所在地：東京都豊島区

業種：電解還元水整水器販売、携帯電話・
OA機器販売等

海外

TRIMGEN CORPORATION

所在地：米国メリーランド州ボルチモア

業種：バイオテクノロジー、遺伝子診断

PT SUPER WAHANA TEHNO

所在地：インドネシア・ジャカルタ

業種：ボトルドウォーター製造及び販売

広州多寧健康科技有限公司

所在地：中国広東省広州市

業種：電解還元水整水器及び飲料水、
健康関連商品の製造販売



連結貸借対照表

	当期末	前期末
	平成22年3月31日現在	平成21年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	7,795	6,903
固定資産	5,013	4,972
有形固定資産	3,344	3,386
無形固定資産	38	17
投資その他の資産	1,630	1,568
資産合計	12,808	11,875

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

	当期	前期
	平成21年4月1日から平成22年3月31日まで	平成20年4月1日から平成21年3月31日まで
売上高	8,232	7,962
売上原価	2,059	2,089
売上総利益	6,173	5,873
販売費及び一般管理費	4,995	5,138
営業利益	1,177	734
営業外収益	123	174
営業外費用	35	43
経常利益	1,265	865
特別利益	34	1
特別損失	170	278
税金等調整前当期純利益	1,129	588
法人税、住民税及び事業税	590	353
法人税等調整額	7	9
少数株主損失(△)	△ 32	△ 1
当期純利益	563	226

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況 (平成22年3月31日現在)

発行可能株式総数	8,000,000 株
発行済株式の総数	4,401,173 株 (自己株式227,217株を除く)
株主数	3,040 名
大株主	
株主名	持株数
森 澤 紳 勝	1,875,290 株
野村信託銀行株式会社(投信口)	317,350
NCT信託銀行株式会社(投信口)	225,450
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	222,800
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	165,950
ザ・チェース・マンハッタン・バンク・エヌ・エイ・ロンドン・エス・エル・オムニバス・アカウント	69,400
アールビーシー・デクシアインバスターサービス/バンク・アカウント・ルクセンブルグ/ノンレジデントドメスティック・レート	61,000
株式会社三井住友銀行	60,000
日本トリム従業員持株会	55,700
第一生命保険相互会社	50,000
住友生命保険相互会社	50,000

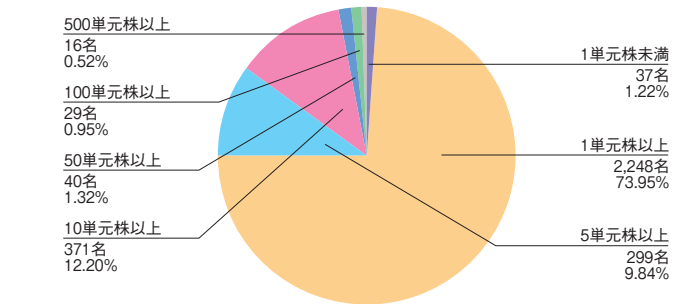
会社の概要 (平成22年3月31日現在)

商号	株式会社日本トリム
	NIHON TRIM CO.,LTD.
本社	大阪府北区大淀中一丁目8番34号
設立	1982年(昭和57年)6月12日
資本金	992,597千円
従業員	361名(関係会社含む)
主な事業内容	電解還元水整水器及びカートリッジ・家庭用電位治療器等の製造販売

自己株式の取得状況

自己株式数 227,217 株(発行済株式の総数に対する割合 4.91%)
 当社は会社法第165条第2項の規定により、取締役会の決議によって自己の株式を取得することができる旨を定款に定めております。これは、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行できるようにする為、自己の株式を取得することを目的とするものであります。

所有者別株式分布状況



役員 (平成22年6月24日現在)

代表取締役社長	森 澤 紳 勝
専務取締役	尾 田 虎 二 郎
常務取締役	西 谷 由 実
常務取締役	三 谷 禎 秀
常勤監査役	森 澤 邦 雄
監査役	阿 田 木 実
監査役	寛 正 澄

(単位:百万円)

	当期末	前期末
	平成22年3月31日現在	平成21年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	1,562	1,143
固定負債	1,307	1,376
負債合計	2,869	2,519
(純資産の部)		
株主資本	9,811	9,415
評価・換算差額等	108	△ 66
新株予約権	5	5
少数株主持分	13	1
純資産合計	9,939	9,356
負債・純資産合計	12,808	11,875

連結キャッシュ・フロー計算書

	当期	前期
	平成21年4月1日から平成22年3月31日まで	平成20年4月1日から平成21年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	886	481
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 139	△ 779
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 185	14
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△ 13
現金及び現金同等物の増減額	562	△ 297
現金及び現金同等物期首残高	3,839	4,136
現金及び現金同等物期末残高	4,401	3,839

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。